

さらなる飛躍に向けて

株式会社 インテックホールディングス

代表取締役会長兼社長

中尾 哲雄



株式会社インテックホールディングスとTIS株式会社は、平成20年4月1日、株式移転による共同持株会社「ITホールディングス株式会社」を設立いたします。

この経営統合は、対等かつ互譲の精神に基づいて、両グループの経営資源を集中し、経営基盤の強化、事業規模の拡大、相乗効果の追求、およびサービス提供能力の強化を実現することで、国際競争力のあるシステムインテグレータとして飛躍することを目指すものです。ますます高度化するお客さまニーズに対応して、互いの得意分野の拡充、技術力の共有・活用、また顧客基盤の強化による規模の拡大、競争力の強化を図ってまいります。

IT業界ではグローバル化が進展する中、再編の波が徐々に大きくなってまいりました。両グループはこれまで独立系の情報サービス企業として独自の経営戦略をとってきましたが、今回の経営統合は先んじてその波に乗ることを決断したものです。

この統合により、売上高3,250億円、営業利益

180億円、従業員数約1万5,000名の企業グループとなり、業界においてトップグループに入る規模となります。

情報サービス業界およびソフトウェア業界は、売上高規模が約19兆円、就業者数では約80万人の規模に成長し、社会インフラを支える重要な役割を担う基幹産業になりました。一方、数千社を超える同業の多くは、中小規模であり、その結果、取引の多層構造の問題など多くの課題を抱えています。

他社に先んじた今回の統合が、業界の構造改革につながる可能性も感じており、中期的には、基幹産業としてよりふさわしい品格を持ち、そして従業員が大きな誇りを持って働くことのできる業界に導く先導役になることを期待しております。

今後、ITホールディングスは時間をかけ相互に理解し合いながら、グループ各社の分割、再編、合併等の検討も視野に入れ、統合シナジーを具体化してまいります。両グループの良さを最大限に発揮して実りある融合を図ってまいりますので、今後とも何とぞよろしくお願い申し上げます。

4月 規模の拡大と相乗効果による経営基盤・競争力の強化 ITホールディングス誕生

ITホールディングスの2010年度計画

	2007年度計画			2010年度計画
	インテックHD	TIS	単純合算値	
売上高(億円)	1,250	2,000	3,250	4,000
営業利益(億円)	100	80	180	400
営業利益率(%)	8.0	4.0	5.5	10.0
ROE(%)	13.0	4.1	7.4	15.0

(1) 2007年度単純合算値は両社の2008年3月期中間決算短信の連結業績予想の単純合算値です
 (2) 2007年度のROEについて、当期純利益については2007年度見直し、純資産については2007年9月末の数値を基礎としております
 (3) 持分プーリング法により統合を行うため、のれんは発生しない見込みです

【中期目標】早期に売上高5,000億円、営業利益500億円、ROE20%の実現を目指す

情報サービス業界のリーダーとして、インテックグループとTISグループはお互いの歴史、企業文化を尊重しつつ、ITホールディングスグループの一員として経営資源やお客さま基盤、技術力を共有・活用し、お客さまにより高い価値を提供してまいります。企業規模の拡大によって、お客さまにさらに安心感をもつて、総合的なサービスをお任せいただける陣容となります。

両グループが一丸となって取り組むことで、早期に統合効果を実現し、情報サービス業界にお

ディンクスは従業員約1万5000名、売上高3250億円、営業利益180億円の企業グループとなります。また、2010年度には売上高4000億円、営業利益400億円を目標とし、早期に売上高5000億円、営業利益500億円の実現を目指してまいります。

基礎体力の向上による収益機会の拡大
 安定収益基盤の拡大による大規模案件の獲得、設備投資、研究開発投資、M&A機会の積極的な追求、動員力の向上と人材の多様化による、継続的かつ効率的な受注体制の確立

技術ノウハウの共有によるソリューション力の強化と収益力の向上

差別化した得意分野の確立と成長の加速

クレジットカード、銀行、保険、化学等の業種での豊かな業務知識に基づく競争優位の確立

流通分野等でのシナジー効果の発現による収益の大幅な拡大

両者が得意とするアウトソーシング事業の高付加価値化とお客さまニーズの深耕

株式移転に伴い、TISの普通株

経営統合の効果と基本戦略は下記の通りです。

期待される相乗効果



式1株に対して、ITホールディングスの普通株式1株インテックホールディングスの普通株式1株に対して、ITホールディングスの普通株式0.79株を割り当て交付します。

会社名	TIS	インテックHD
株式移転比率	1.00	0.79

得意分野の拡充とお客さま基盤の拡大



インテックHDの中尾哲雄会長(左)とTISの岡本晋社長

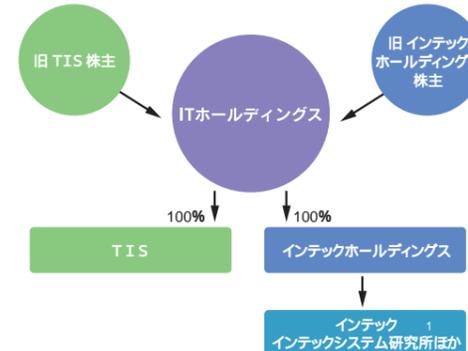
2月15日開催の臨時株主総会の承認を受け、インテックホールディングスは本年4月1日、株式移転によりTISとともに「ITホールディングス株式会社」を設立いたします。インテックグループは1964年1月のインテックス当時、富山計算センター(創立以来、40年以上にわたって日

客さまの目は一段と厳しくなっている上、IT技術の革新やネットワークインフラの整備を背景にお客さまのニーズはますます高度化しています。また、中国やインドなどでのオフショア開発、M&Aによる大手企業の顧客囲い込みや新たな競合他社の出現により競争が激化することも予想されています。

このような環境の下、トップ情報サービス企業の一つとして成長を持

本の情報化の進展とともに歩み、お客さまのITパートナーとしてお役に立つよう努めてまいりました。2006年10月には純粋持株会社インテックホールディングスを設立し、グループ企業がそれぞれ存在感のある企業として事業の強化を図り、互いに連携することによってグループの総合力を高めてまいりました。情報サービス産業においては、金融業や製造業を中心として安定的なIT投資が継続するとみられ、緩やかな拡大が予想されています。しかし、IT投資の費用対効果へのお

統合(共同株式移転)後のイメージ



2010年には売上高4000億円を目指す

インテックグループとTISグループはこれまで、独立系の情報サービス企業グループとしてそれぞれ成長してきましたが、さらなる成長を目指して経営統合を行うことを決断しました。これにより、インテックホールディングスとTISは株式上場を廃止し、かつてITホールディングスが4月より東証一部に上場いたします。この経営統合により、ITホール

続けるには、お客さま基盤を拡大するとともに、得意分野を拡充すること、お客さまにより多くの付加価値を提供することが不可欠となります。

1 W&Gは、4月1日よりインテックシステム研究所に社名変更いたします。(19頁参照)
 2 業績予想は、両社の平成20年3月期中間決算短信の連結業績予想の単純合算値です。

株式移転の当事会社の概要(平成19年9月30日現在)

商号	TIS株式会社	株式会社インテックホールディングス
事業内容	情報投資に係わるアウトソーシングサービス、ソフトウェア開発、ソリューションサービス	情報・通信事業、リース事業、不動産賃貸・管理事業、その他の事業
設立年月日	昭和46年4月28日	平成18年10月2日
本店所在地	大阪府吹田市江の木町11番30号	富山県富山市牛島新町5番5号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 岡本 晋	代表取締役会長兼社長 中尾 哲雄
資本金	23,110百万円	10,032百万円
発行済株式数	45,336,787株	51,935,737株
純資産(連結)	89,277百万円	43,879百万円
総資産(連結)	168,119百万円	135,869百万円
決算期	3月31日	3月31日
従業員数(連結)	9,015名	5,751名
主要取引先	(株)ジェーシービー (株)小松製作所 三菱UFJニコス(株) 他	(株)三菱東京UFJ銀行 ニッセイ情報テクノロジー(株) 三菱電機情報ネットワーク(株) 他
大株主及び持株比率	日本スタートラスト信託銀行(株)(信託口)7.5% 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)5.7% (株)三菱東京UFJ銀行 2.7%	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)11.5% 日本スタートラスト信託銀行(株)(信託口)5.4% 日本スタートラスト信託銀行(株) (退職給付信託口・三菱電機(株)信託口)3.9%
主要取引銀行	(株)三菱東京UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行(株)	(株)三菱東京UFJ銀行 (株)みずほコーポレート銀行 (株)富山第一銀行 (株)北國銀行

グループ会社一覧

TIS株式会社		株式会社インテックホールディングス	
TISシステムサービス	アグレックスファインテクノ	インテック	中央システム
TISトータルサービス	ユーフィット	インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマティクス (4月1日よりインテックシステム研究所に社名変更)	フレックス
TISリース	シーエスエイ	アイ・ユー・ケイ	アイ・エヌ・キューブ
BMコンサルタンツ	シーエステイ	インテック ソリューション パワー	インテックアメニティ
TISソリューションビジネス	システムサポート	高志インテック	スカイインテック
クオリカ	AJS	インテック・ネットコア	ヒューマ
QUALICA (SHANGHAI) JNC.	AJSソフトウェア	英特克信息技术(武漢)有限公司(インテック武漢)	マイテック
エス・イー・ラボ	TIS R&D Center, Inc.	北国インテックサービス	インテック・アイティ・キャピタル
ランサ・ジャパン	TKSOFT SINGAPORE PTE. Ltd.	ウィズインテック	ブラネット
アグレックス	TIS(Shanghai)Co.,Ltd.	北海道インテック	イーソリューションズ
		キーポート・ソリューションズ	
		オーテック	アット東京
		エス・クルー	新川インフォメーションセンター



取締役
藤宮 宏章



取締役副社長
滝澤 光樹



取締役副社長
浦田 幸夫



代表取締役社長
岡本 晋



代表取締役会長
中尾 哲雄



社外取締役
國領 二郎



社外取締役
小田 晋吾



取締役
金岡 克己

ITホールディングス株式会社 会社概要(予定)

設立日	2008年4月1日
商号	ITホールディングス株式会社 (IT Holdings Corporation)
事業内容	傘下子会社およびグループの経営管理 ならびにそれに付帯する業務
資本金	100億円
株式	東京証券取引所 市場第一部上場
本社	富山市牛島新町5番5号
東京本社	東京都千代田区内幸町一丁目2番2号 日比谷ダイビル

代表者および役員の就任予定

()内は3月1日現在

代表取締役会長	中尾 哲雄 (インテックホールディングス代表取締役会長兼社長)
代表取締役社長	岡本 晋 (TIS代表取締役社長)
取締役副社長	浦田 幸夫 (TIS代表取締役専務)
取締役副社長	滝澤 光樹 (インテックホールディングス取締役副社長)
取締役	藤宮 宏章 (クオリカ代表取締役社長)
取締役	金岡 克己 (インテック代表取締役執行役員社長)
取締役(社外)	小田 晋吾 (前日本ビューレット・パカード代表取締役社長執行役員)
取締役(社外)	國領 二郎 (慶應義塾大学総合政策学部教授)
監査役(社外)	土家 瑞生 (TIS監査役)
監査役	村井 安博 (インテックホールディングス監査役)
監査役(社外)	伊藤 醇 (TIS監査役) (公認会計士・税理士伊藤醇事務所代表)
監査役(社外)	武内 繁和 (インテックホールディングス監査役) (武内プレス工業代表取締役社長)

ITホールディングス 役員体制が決定

社外取締役に小田氏
國領氏が選任

2月15日開催の臨時株主総会においてITホールディングスの取締役8名、監査役4名の就任が承認されました。代表取締役会長に中尾哲雄、インテックホールディングス会長兼社長が、代表取締役社長にTISの岡本晋社長が就任し、社外取締役には日本ビューレット・パカードの前社長小田晋吾氏、慶應義塾大学教授の國領二郎氏が就任いたします。なお、経営統合に向け、インテック、TISそれぞれの経営体制の充実強化を図るため、取締役(非常勤)を相互に選任しました。インテックの非常勤取締役にTISの前西規夫代表取締役専務が、TISの非常勤取締役にインテックホールディングスの宮地秀明副会長が4月1日付で就任いたします。